



シリーズ 今、気づき、じんけん

共に生きる 29

正しい知識で差別をなくす

新型コロナウイルス感染症が発生し、3年以上経過しました。発生して間もなく、社会は大きく混乱し、新たな差別も生み出しました。看護師として、これまで新型コロナ対応に従事してきた馬場千草さんに話を聞きました。

過剰に怖がるのが差別を生む

2020年1月、日本でも新型コロナの感染が確認され、4月には緊急事態宣言が発出されました。警戒していたとはいえ、当時はまだ未知のウイルス。対策や対応は全て手探りでした。人々は感染を恐れるあまり、他人と同じエレベーターに乗るのを嫌がったり、他県ナンバーの車に過剰に反応したり。医療従事者やその家族と関わることを避ける人もいましたね。それは新たな差別も生み出しました。

正しい知識を身につける

私は感染対策の専門的な知識を基に、病院や施設などで感染予防を行う感染管理認定看護

「普段から基本的な対策を継続することが大切なんです」と語る馬場さん



馬場千草さん

令和3年度まで聖マリア病院医療の質管理本部で看護師長を務める。現在は感染管理認定看護師として、高齢者施設や病院などの新型コロナ感染対策の講師を行っている

師です。当時、聖マリア病院で患者と職員を院内感染から守る役割を務めていました。新型コロナが流行し始めると間もなく、社会では大きな混乱が見受けられました。これはSNSやテレビ番組、うわさ話などの情報を信じて過剰に反応してしまったから。感染症の正しい知識がないためです。なかには、症状が出ているのに差別を恐れて検査を受けない人もいました。結果として、感染を拡大させてしまうという悪循環に。科学的根拠に基づく正しい知識を身に付け、冷静な行動が必要だと思えます。そして流水による手洗いや手指のアルコール消毒、洗浄・消毒などの環境清掃、咳エチケットなどの基本的な対策を日頃から継続することが大切です。

互いを思いやり、尊重する

人はさまざまな背景を持つので、考えや意見の食い違いがあるのは当然です。特に未知のウイルスへの反応は、人それぞれだと思えます。大切なのは正しい知識のもとに、一人一人が相手を思いやり、行動すること。そうすれば、新たな感染症が生まれても、冷静に正しい判断ができるようになるはず。それが結果として他人だけでなく、自分自身を守ることにつながります。

◎保健予防課

(☎0942・30・9730、FAX 0942・30・9833)

田主丸町で開催された自然観察会の様子



6月は環境について考え、行動する「環境月間」です。久留米市は市民や事業者が環境に配慮した行動を呼びかけ、その手がかりを「環境配慮行動指針」としてまとめています。環境問題の解決は、一人一人の小さな行動からはじまります。環境月間をきっかけに普段の生活や行動を見つめ直し、できることから積極的に取り組みましょう。使い捨てプラスチックの利用を

動画公開



環境のためにはできることから

6月5日は世界環境デー



WEB 環境フェアを開催

「久留米の自然といのち、未来へつなごう」をテーマに6月1日(木)から30日(金)まで開催。楽しく学べるコンテンツを豊富に用意。

【WEB】

- ・環境ポータルサイト ecoco エココ
- ・YouTube の久留米市エコチャンネル ユーチューブ

【ワークショップ】

- ・ホテル観察会 6月3日(出)
- ・生物多様性セミナー 6月10日(出)など

減らす ■徒歩や自転車、公共交通機関を利用する ■自然観察会などに参加して自然や生き物に触れ合う ■地域の清掃活動に参加する
◎環境政策課 (☎0942・30・9146、FAX 0942・30・9715)



セーフコミュニティシリーズ® DV防止



けがや事故を予防するポイントを全9回シリーズで紹介。実践しましょう

気づかれにくい、家庭での暴力

久留米市の調査では、女性の4人に1人がパートナーから暴力を受けた経験があり、そのうち相談しなかった、またはできなかった人は50%を超えています。

家庭内で起こるDV(ドメスティック・バイオレンス=パートナーからの暴力)は、周りに気づかれにくく、被害者自身も「自分にも悪いところがある」などと思ひ、1人で抱え込んでしまいがちです。

DVはどのような理由があっても決して許されることではありません。DVかもしれないと少しでも思ったら、ためらわずに周りや専門窓口へ相談しましょう。

◎男女平等推進センター (☎0942・30・7800、FAX 0942・30・7811)



【経済的なもの】
生活費を渡さないなど



【精神的なもの】
大声で怒鳴る、ばかにするなど

これもDV

すぐにできる予防策

☑自分が悪いと思わず、まずは相談



- 家庭子ども相談課
☎ 0942・30・9063
FAX 0942・30・9718
- 男女平等推進センター
☎ 0942・30・7802
FAX 0942・30・7811

相談は無料。秘密は守ります